

大雨災害ボランティア 大江町と大石田町で取り組んできました！

「水害は過去に4回、今回が一番ひどい」「一人で途方にくれていた」「お盆用の花も出荷直前に全滅」
お盆を前に被災者の悲痛な声。私達に少しでも出来ることを！



8月5日大江町に2人、同6日大石田町に5人でボランティアに参加しました。被災した方々は「どこから手を付けていいのか」「九州であったことが他人事ではなかった」と疲弊されていましたが、作業が終わる頃には「何とか先が見えた。ありがとう」「よそから大勢来てくれてありがとね」と明るく話して下さいました。

参加者から「取り組んで良かった」「話し相手にもなれて良かった」「若手の力が必要。職場の人に話していく」との感想が出されました。

早期復旧には人手が必要ですが、どの市町村も新型コロナウイルス対策として、ボランティアは「地元に限る」「7日まで」と制限され、被災者のニーズに答えきれない状況です。私たちはボランティアを通じて自然災害の恐ろしさを学び、行動していきます。



被災地に立ち、私たちにできることを弱い立場の側に立って考え、取り組んでいきましょう！